

5 本時の計画

(1) ねらい

文章の構成や展開の意図について、登場人物の心情の変化に沿って自分の考えをもつことができる。
〔思考力、判断力、表現力等 C(1)エ〕

(2) 学習過程 (本時 4 / 7)

過程	思考の流れと学習活動の流れ	時間	指導の手立て ◇ ICTの活用 評価
導入	<p>1 前時に学習した場面ごとの「私」の心情の変化を確認し、本時の学習問題を設定する。</p> <div data-bbox="236 577 815 696" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習問題】 「戸部君」→「おばさん」の順序で物語が展開するのはどうしてか？</p> </div>	8	<ul style="list-style-type: none"> 「戸部君」とのやりとり、掃除をする「おばさん」とのやりとりのどちらが、「私」にとって大きな変化をもたらしたかを問う。 ◇各自の判断を可視化するため、ポジショニング機能で立場を示す。
展開	<p>2 解決方法を見通し、自分の考えをもつ。</p> <p>3 グループで意見を交流し、根拠の拡充を図る。</p> <p>4 異なる立場との討議や全体での話し合いで、考えを深化させる。</p> <div data-bbox="236 1160 507 1301" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>どちらかが欠けると完全には吹っ切れなかったと思う。</p> </div> <div data-bbox="555 1160 815 1301" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>戸部君との気づきがあったからこそ、おばさんの言葉が身にしみた。</p> </div> <div data-bbox="236 1323 507 1464" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>前向きにさせてくれる重要な人物であることは共通している。</p> </div> <div data-bbox="555 1323 815 1464" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>戸部君が心をほぐし、おばさんが大切なことを教えてくれた。</p> </div>	7 5 20	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を基に、解決を見通すための視点を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> I 「戸部君」と「おばさん」の人物像を比較する II 「私」の心情の変化が読み取れる表現、「会話文」や「行動描写」等を場面ごとに比較する。 同じ判断の者同士で、判断の根拠と理由付けを検討する。 ◇判断の根拠となる場面や描写を全体で共有するため、デジタル教科書(電子黒板)にマーキングして示す。
整理	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <div data-bbox="236 1794 507 1935" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>場面の順序に着目して他の小説を読んでいきたい。</p> </div> <div data-bbox="555 1794 815 1935" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>登場人物の意味や役割について考えながら読めた。</p> </div>	5 5	<ul style="list-style-type: none"> 「戸部君」と「おばさん」が担う役割の共通点と相違点に着目させる。 <div data-bbox="938 1263 1410 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共通点・・・前向きになる契機 相違点・・・戸部君 →冷静さを取り戻し、気づきを促す おばさん→思考を整理する</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇相違点のキーワードをタブレットの発表ノートに書き込み、電子黒板に投影する。 必要な生徒には、キーワードやまとめの型を提示する。 <div data-bbox="906 1688 1410 1861" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>文章の構成や展開の意図について、「私」の心情の変化に沿って、「戸部君」や「おばさん」との関わりを比較しながら自分の考えをまとめている。 (発言、学習シート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 次の文学的文章の学習、生徒の読書活動につながる振り返りとなるよう方向付ける。

(3) 授業研究の視点

- 秋田の探究型授業を自立的に進めるための手立ては適切であったか。
- 授業の各段階における ICTの活用は効果的であったか。